

活動報告

多くの柏市民等が「第2回こんぶくろ池展」を楽しみました

松田 和生

「第2回こんぶくろ池展」は、予定通り10月5日～8日の間に柏駅高島屋ステーションモール8階にある柏市民ギャラリーにて開催され、柏市民をはじめ近隣の県・市等から多くの老若男女が訪れ楽しんでいました。その数は平日にもかかわらず延べ905人に達しました。



この催しは、柏市の北部に位置し、氷河期から生き残る貴重な植物群とこんぶくろ池等の湧水が息づく多様性の森について柏市民等の皆さんに広く知っていただき、その自然に親しむとともに保護・育成等への理解を深めて永く後世に伝えたいとの願いから始められたものです。

今回は、「NPO法人こんぶくろ池自然の森」の市民ボランティア活動10周年記念行事として、柏市・柏市教育委員会の後援及び柏歴史クラブの強力をいただき、『ドコモ市民活動団体への助成金』により実施されました。

今回の特徴は、こんぶくろ池自然博物公園整備計画及びNPO法人の活動、並びにこんぶくろ池界隈に生息する動植物の映像メディアによる放映や、実物あるいは標本等による紹介、千葉大や東京大学生による研究、会員の工芸作品等の紹介、歴史コーナー、こんぶくろ池等に係る紙芝居や絵画作品等にありました。



開場は5日の13時でしたが、12時前後から準備状況を覗いたりする市民が見られ、関心の高さがうかがえました。そして開場から8日終了までの間、次から次へとほとんど絶えることなく見学者が訪れていました。



入場者は、全く初めての人、昔こんぶくろ池に行ったことのある人、お父さんやお母さんと一緒に来た子供、女性のグループ、学生さん、偶然ギャラリーを見つけて入った人等と様々ですが、椅子を多く準備したことが功を奏し、ほとんどの人がゆったりとした雰囲気の中でじっくりと見学できたようです。多くの方がこんぶくろ池界隈の自然の素晴らしさを知り、異口同音に、一度訪れてみたい、あるいは是非とも後世に残したいと話していました。

奥多摩の森林セラピストをしているという60代の男性は「趣味仲間を誘ってこんぶくろ池や付近の森に行ってみよう。」と抱負を語っていました。

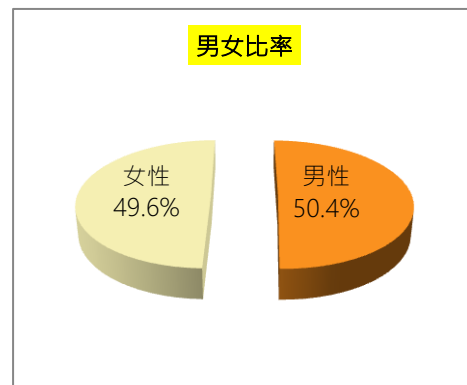
アンケート集計結果（一部抜粋）

事務局長 古橋 勲

905名の来場者のうち、266名（配布枚数495枚）からアンケートを回収しました。下記に集計結果を報告いたします。

【1】 来場者の男女比率

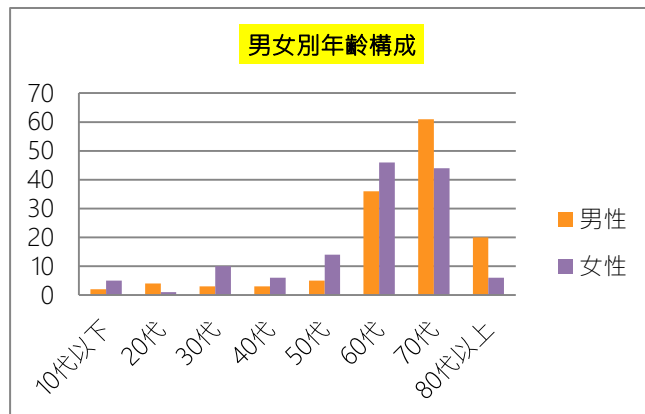
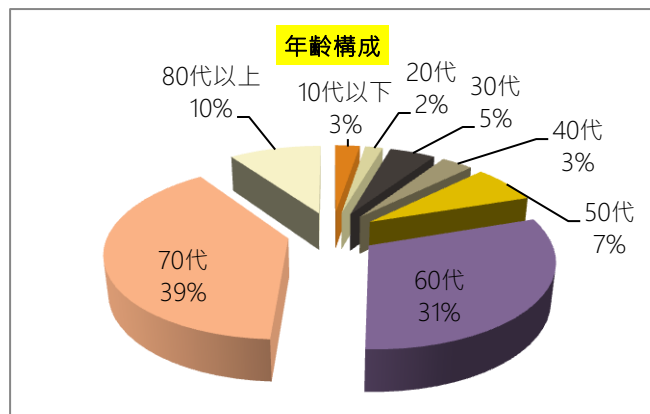
第1回の際は女性47%、男性35%と女性が多かったが、今回はほぼ同数であった。年配者の来場者には、ご夫婦連れの方が目立ちました。



【2】 来場者の年齢構成

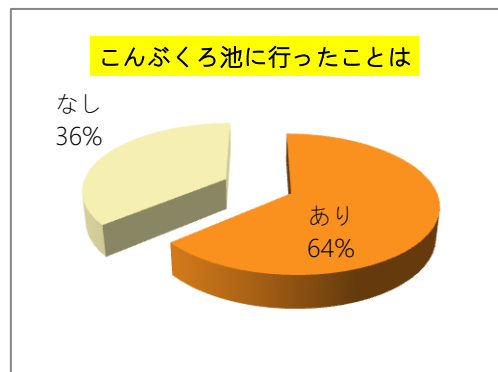
60代以上が80%であり、20代、70代、80代以上を除いた年代層では女性の方が多い。特に70代の男性は団塊の世代の少し前、高度成長期の担い手世代であり、自然に対する意識の高い世代と言える？

若い世代に関心を持たせるための工夫を考え直す必要があるのでは？



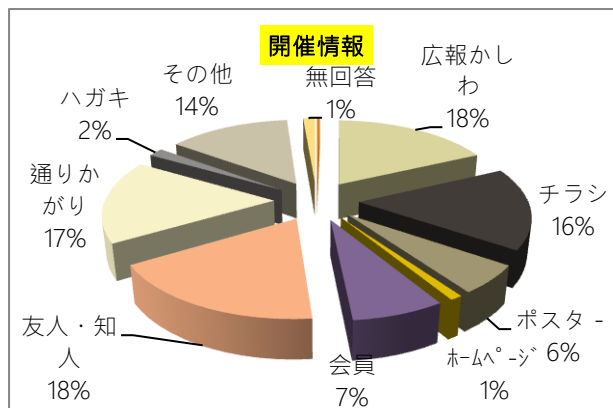
【3】 こんぶくろ池自然博物公園に行った事がありますか

第 1 回のこんぶくろ池展（2013 年 12 月）のアンケートでは、こんぶくろ池自然博物公園に行ったことがあるとの回答は 44%しかなかったものが、今回は 20%増えて 64%になったのは、我々の活動を通じてこんぶくろ池の知名度が上がったものによると考えられる。



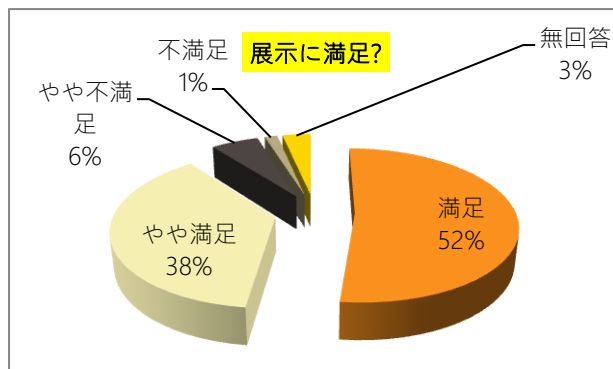
【4】 こんぶくろ池展の開催をどこで知りましたか

第 1 回の時は、会員からの情報が 33%だったのに対して、今回は 7%と低迷、努力不足でした。



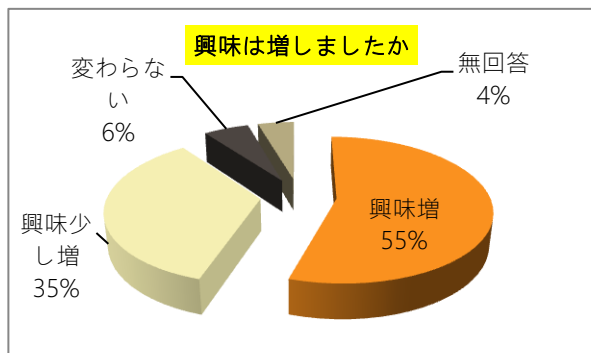
【5】 こんぶくろ池展の展示に満足されましたか

半数の方は満足いただけたようですが、38%の方は「やや満足」で、具体的に何が足りなかったのかは不明です。NPO としては最善を尽くしたつもりですが、NPO に対する期待は我々が思っているよりも大きなものがあり、反省すべき点だと思われま



【6】 こんぶくろ池自然博物公園への興味は増しましたか

こんぶくろ池展に参加して、興味が増した方が半数以上あり、少し興味をわいた方を含めると 90%にもなり、こんぶくろ池展を開催した成果が感じ取られました。



NPO の活動は、当事者のみの自己満足に終わることなく、市民目線で進める必要があると思われま